

# VIVID LETTER

フレッシュスタート目白がスタート 利用者大募集	1
高次脳機能障害相談 VIVID	2
高次脳機能障害者支援セミナー報告	3
ひとこと通信	4
総会報告・VIVIDからのお願い	4

“VIVID”は高次脳機能障がい者の社会参加を支援する特定非営利活動法人です。

特定非営利活動法人 VIVID(ヴィヴィイ)  
〒161-0033  
新宿区下落合 4-20-16 ヲ目白 103  
TEL: 03-5849-4831 FAX: 03-6908-3364  
Eメール hbd-vivid@vivid.or.jp  
HP <http://www.vivid.or.jp>

## 就労継続支援 B 型事業所 開設 5 か月 フレッシュスタート目白がスタート 利用者大募集！！

東京都の認可を受け、4月1日、就労継続支援 B 型事業所フレッシュスタート目白（以下フレスタ）がオープン。認可までには、多くの書類をそろえ、都の担当課に何度足を運んだことか…。

なにはともあれ、フレスタの船出です。漕ぎ出した海はどんな海？

### リユースショップの出だしは上々♥

ショップの開店は、4月6日（金）。品物もどれだけ集まるだろう、という心配は吹っ飛び、開店前から次から次への提供品は山のよう。

生活クラブ生協・新宿の組合員の協力と、開店前の「仕事」として利用者さんとスタッフによるチラシまきが功を奏したといえます。

生活クラブ生協の関係者・関係団体には、フレスタ準備のときから協力をいただき、リユースショップのノウハウを教えていただいたり、2 団体からは助成金をいただくなどしました。

開店以降は、多くの来客に恵まれ、常連のお客さんも大勢となり、売り上げは順調に推移。地域のみなさんとの会話も弾んでいます。

当初は接客に及び腰だった利用者さんも、ショップの楽しさにすぐに慣れ、生き生きと接客を務めています。バックヤードは、次々と来る品物の値付けなどに追われていますが、今ではすっかり慣れた手つきで仕事をしています。

現在のもうひとつのメイン事業は、新宿区委託の緑化事業です。徒歩+バスで通う場所ですが、草花好きの利用者さんにとっては、楽しみの作業となっています。ただ、今

夏の酷暑は、楽しみの「緑化の日」を阻んでしまい、通えなくて残念！の日もありました。

### お披露目会

地域のみなさんに、障がいや事業について理解して

いただきたいということと、開設までに協力いただいた関係者の方々にフレスタを見ていただくことを目的に、6月16日（土）にお披露目会を実施しました。会の前には、周辺の地域に案内チラシをまき、再びフレスタをアピール。

当日の参加者は29人で、ショップのお客さんも参加くださいました。隣り町で生活クラブ生協のごま油の生産をされている小野田製油所さんをはじめ、生活クラブ生協理事長などから来賓挨拶をいただき、その後、サービスマン



フレスタ入口



利用者さんの作業の様子の動画など交えて説明。写真左側：遠藤伸

者の遠藤伸から、事業の説明を行い、出席者全員に一言ずつコメントをいただきました。利用者さんの家族からは、フレスタのような場所が欲しかった、との切実なお話があり、参加者の胸にこみ上

げるものがあった様子で、フレスタ開設の意味を噛みしめる場となりました。

## 利用者拡大が喫緊の課題

4月1日が日曜日だったため、実質のスタートは2日。利用契約は、就労継続支援B型支給決定がされ受給者証が送られてきてはじめて締結できます。1日時点での契約者は0人だったため、初日の利用者は0人からスタート。3～5日の実習期間を経験してもらい、利用者の希望も伺い、好調！とは言えませんが、少しずつ利用者は増えています。

しかし、まだまだ利用者の拡大が必要で、大大募集で

す。見学・実習はいつでも受け入れています。中途障がいを中心に、高次脳機能障がい、身体障がい、精神障がい、発達障がいのある方で、年齢は18歳～64歳、手帳の有無は問いません。個々の主訴やニーズに基づいた個別支援計画を作成し、作業支援及び生活支援を行います。お気軽にお問い合わせください。地域の人たちが行き交う明るいフレスタで、お待ちしております。

漕ぎ出した海は、多少困難があろうと、明るい海と思いたい！フレスタは、就航したばかり。今後とも、みなさまのご支援、ご協力、よろしく願いいたします。

## フレスタの1日

### 始まりの会



毎朝、当番の司会で進行。今日の気分、あいさつ練習などを行い、「今日の作業」の中から、やりたい作業を選択。写真はラジオ体操の様子



### バックヤード

ショップのポップ作成も楽しい！



### ショップ

レジ打ちも慣れてきました  
(左の写真)



新たなチャレンジ！  
ピース作成

twitter 始めました。利用者さんも毎日交代でつぶやいています



「あなたに花を咲かせます。今日は緑化作業に行ってきました」と素敵な一言は、ある日のつぶやきです

## 高次脳機能障害相談支援 VIVID

### ご存知ですか？

#### 公的サービスの利用に必須の「サービス等利用計画」

障がいのある人が地域で自立して暮らしたいと思った時、支えになるのが「障害者総合支援法」や各自治体の「障害者施策」に沿った公的サービスです。

公的サービスを利用するには、本人の目指す生活の希望をわかりやすく「サービス等利用計画（以下、「計画」）」にまとめ、自治体に提出しなければなりません。「計画」を受けとった自治体は、本人の障がいの支援区分や必要なサービスの量（時間数等）を決めて、「サービス受給者証」を本人に発行します。そうして、ヘルパーや通所の事業所から利用者へのサービスが始まります。この「計画」は自分で作ることもできますが、相談支援専門員に依頼することもできます。専門員は制度に位置づけられ、一定の要件を満たし資格を与えられた人です。

高次脳機能障害相談支援 VIVID  
事業所番号：1330401637  
☎ 03-6380-2015

仮にこの本人を中途障がいのAさんとしましょう。Aさんは訪問介護と就労継続支援B型のサービスを利用しながら、サービスの内容に関して意見を出し合う担当者会議やモニタリング（サービス評価）会議に参加します。その開催時期や回数などは予め「計画」に書き込んでおき、Aさんが期待していたサービス時間や支援の質が納得できるかなどを確認していきます。そうしながら、まずは1年、自分の希望する生活に近づけていきます。Aさんは、サービス利用を継続しながら、身体面での回復、作業面での技術の習得、集中力やコミュニケーション力などの社会的力を身に付けていく中で、次のステップを考えていきます。

「計画」は本人の要望とその実現方法を、相談支援専門員とよく話し合いながら一緒に作っていきます。公的なサービス以外にも必要な支援の情報があれば計画に加え、その人に合った計画にしていきます。

NPO 法人 VIVID の事業所のひとつである「高次脳機能障害相談支援 VIVID」では、高次脳機能障がいに限らず、公的サービスや支援を利用したことがない方のご相談にも対応しています。お気軽にご相談ください。

(相談支援専門員：池田敦子)

# 高次脳機能障害者支援セミナー報告

2018年7月21日セミナー開催

「脳血管障がいによる高次脳機能障がい

—その回復期医療、リハビリ、社会復帰 について」

講演 和田義明さん（日産厚生会玉川病院院長）



和田義明さん

今回は、当日お手伝いで参加いただいた相楽祐子さんさくらにご寄稿いただきました。

講演会の会場設営と受付をお手伝いし、初めてこの病の正しい名称を知り認識を持つこととなりました。

初めて耳にする言葉でした。

原因の6割以上が脳血管障がいによるもので、身近な病い・脳卒中が主なものです。私の身近でも祖母、叔父がこの病で亡くなり、母も小さな脳梗塞を繰り返していました。

四肢麻痺に目が行きがちですが、高次脳機能障がいにおいては、当事者も家族も気付くのは退院後となるケースが多いそうです。

今思えば、快活だった母の表情が乏しくなり、それでも時おり子どものようなかわいらしい笑顔を見せてくれました。また、口が重くなり、仲良しのお友達とおしゃべりに花を咲かせることもできずにいたことを思い出します。

「アッ！あの症状が高次脳機能障がいだったのか！」と認識しました。母は79歳でしたが、若い人がこの病になると、残りの長い人生をこの病を抱えて暮らすわけです。

障がいは、過去の記憶はあるが新しい記憶が定着しない記憶障がい、集中力が続かないなどの注意障がい、上手く仕事がさばげない遂行機能障が

い、感情・欲求のコントロールができない社会行動障がい、片側空間認識欠如の片側空間無視、話が理解できない、文字が読み書きできない失語症などです。

四肢麻痺はなく健康そうに見えるため、コミュニケーション能力欠如、空気が読めない変な人、自分勝手に不真面目との評価をされてしまいます。結果、社会復帰がかなわず引きこもってしまう人が多いとのことです。

当事者本人も周囲も、人格の変化を認識できずトラブルになってしまいます。しかし、適切なリハビリにより回復するという力強い先生の言葉に勇気付けられました。リハビリを可能にする第一歩は、知ること。この病の正しい知識と認識を持ち当事者に接することが、リハビリへの扉を開くのだと思います。

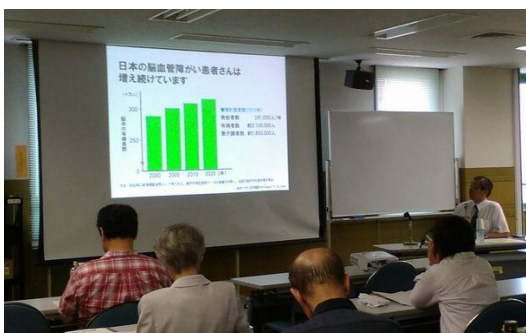
今は、何でもない私達も、いつでも起こりうる病で、近年ますます増加しています。この病にならないためにも生活習慣病を未然に防ぐことが大切です。

しかし、望んでなる人間はいません。病を抱えても理解を示せる社会環境を築くことも大切です。

まずは、病を知ることが初めの一歩だと気付くことができました。

この機会を与えてくださったスタッフの皆様にご感謝いたします。

相楽祐子





## ひとこと通信

今回から「ひと言通信」は、フレスタとミニデイそれぞれの利用者さんから寄稿していただくことにいたしました。

### 川尻です!

皆様、初めまして。フレッシュスタート目白で活動しています川尻亮輔と申します。

ここで簡単ではございますが、自己紹介させていただきます。昭和54年4月生まれO型、長崎県佐世保市出身で年齢は39歳でございます。

もともと脳性麻痺が原因で両下肢機能に障がいがありますが、学生時代は養護学校ではなく、一般の方々と同じように小学校から高校まで一緒に勉強し卒業することができました。

両親にはとても感謝しています。

その後、高校卒業と同時に18歳で東京へ就職で上京してきて20年になります。

この間に様々な仕事をしてきましたし、突発性難聴になり聴力を失いましたが、周りの方々の支えがありここまでやってこられたのだと思います。また、一番自分自身の中で大きなできごとといえば、やはり3年前の夏に低血糖脳症を発症して倒れたことで高次脳機能障がいになり、精神障がい者に認定され新たに精神障害者手帳を交付されました。

高次脳機能障がいになって約2年間仕事に従事することができませんでした。今年4月からVIVIDが開所したフレスタで就労訓練の場としていくことができました。おかげさまで仕事のほうはかなり慣れてきて仕事してる時の体になってきました。

自分自身の最終目標は、就活をしてまた一般企業に戻って働くことなので、これからも日々精進しながら頑張りますのでよろしくお願いいたします。

(フレスタ 川尻亮輔)

### コーヒーの話

コーヒーは焼き芋と合う。なんでカフェに焼き芋かサツマイモのケーキが無いかな疑問だ。

コーヒーはシナモンと合う。自分もスターバックスに行った時はコーヒーにミルクとかシナモンを入れる。最近はカロリーを気にして、はちみつは控えている。

それにチョコレートチャンククッキーとかケーキと合う。苺ショートは高野フルーツパーラーのデカイ苺ショートは美味しい。

チーズケーキはスターバックスでニューヨークチーズケーキをよく食べる。

モンブランは好きなケーキだ。モンブランは東急東横線自由ヶ丘ケーキ屋モンブランが発祥と聞く。

ダミエはスポンジがチョコレートとプレーンの生地のみ松模様のパウンドケーキだ。パウンドケーキは材料を1パウンドずつ混ぜたからパウンドケーキというのだと聞く。ダミエは学芸大学駅のケーキ屋マツタホーンが有名だ。

エクレアは意味が印象的だ。フランス語でイナズマ。なんでイナズマか考えた。食べた瞬間イナズマが走るほど美味しいという意味なのかも。

あんバターは義理の父が好物だった。銀座の木村屋のあんバターじゃないとダメらしい。

豆パンは金時豆が練りこんである。炭水化物に豆は合う。ドーナッツハニーディップ、シナモンリング、シナモンシュガードーナッツは最高だ。ブラックコーヒーがあれば完璧だ。最近は、シナモンブロックはないらしい。アーモンドクリームのかいた奴も美味しい。



ライ麦のパンはスモークサーモンを挟むとうまい。食べ物話は尽きない。

(ミニデイ 田中策土)

## 総会報告

6月15日に第11回総会を開催し、すべての議案が提案通り可決されました。第2次中長期計画の最終年度にあたる今年、新たに開設したフレスタ経営の安定の確保＝利用者の確保が最優先となります。

活動計画として、組織運営では、組織の見直しを行います。また、第3次長期計画(2019～23年度)案策定のプロジェクトを設置し策定します。職員のスキルアップを行い、法内事業所としての社会的責任を果たせるように努めていきます。

計画達成にむけ、みなさまのご協力よろしくお願いいたします。

## VIVIDからのお願い

フレッシュスタート目白がスタートしたばかりです。ご寄付によるご協力をいただくとありがたいです。よろしくお願いいたします。

### 【銀行口座への振込の場合】

三井住友銀行 国立支店  
普通 7907442  
名義 特定非営利活動法人 VIVID

### 【郵便振替口座への振込の場合】

郵便振替口座 00130-7-780312  
加入者名 特定非営利活動法人 VIVID

## 編集後記

フレスタ開設準備から約1年。怒涛の日々でした。もう一つの仕事の関係で、半年ほどVIVIDをお休みし、別の怒涛の日々に向かいます。それではしばしば…ごきげんよう!(金尾)